

## グラウト充填不足部補修工法 —リパッシブ工法— 講習会 開催

グラウト充填不足部に凍結防止剤等の侵入により腐食した PC 鋼材に対して亜硝酸リチウム水溶液を用いて腐食を抑制するリパッシブ工法を神戸大学 森川英典教授のご指導のもと、2011 年に開発しました。

現在までのところ、受注済み工事も含めると約 20 橋の補修工事に採用され、今後ますます増加するものと推定しています。

グラウト充填不足部の補修は、PC 鋼材の耐久性、すなわち PC 構造物の耐久性を左右すること、再補修が困難となることから十二分に注意を払った施工や品質の確保が必要となります。そこで、座学と実技を学ぶリパッシブ工法講習会を開催し、参加者の熱心な質問や実技の取り組みがあり、大盛況のうちに終わりました。

### 1. 開催

東京会場：2015 年 10 月 29 日～30 日 株式会社ピーエス三菱 技術研究所

大阪会場：2015 年 11 月 4 日～5 日 甲賀市共同福祉施設

ピー・エス・コンクリート株式会社 滋賀工場

### 2. 参加者

参加会社：13 社

参加人数：29 名

### 3. 特別講演

演 題：「既設 PC 橋の鋼材腐食劣化とリパッシブ工法による補修対策」

講演者：国立大学法人神戸大学大学院 工学研究科 森川英典 教授

### 4. 講習状況



開会の挨拶

株式会社ピーエス三菱 取締役常務執行役員  
森 拓也



特別講演

国立大学法人神戸大学大学院 工学研究科  
森川英典 教授



### 講義

(マニュアルにそって講義が行われました)



### 実技演習

(充填不足部の模型を使用し補修を体験しました)



### 当社従業員と参加者の記念撮影

(2日間の熱心な講習と前夜の懇親会の疲れと)